

一般質問通告書(平成 24 年 9 月定例会)

氏名・質問事項・答弁先	質問要旨
<p>1 2番 小野 忠 1 財政指数改善の問題について (町長)</p>	<p>財政指数改善の問題について、二点質問する。 地方財政については、今は危機的状況ではないといえるが、バブルの崩壊と景気の低迷により、楽観できる状況ではないと認識している。 第一点として伺うのは。財政力指数の問題である。 財政力指数は基準財政需要額と基準財政収入額の関係であり、需要額が減って収入額が増えると好転するが、本町の場合、3年前、5年前と比較すると年々悪化してきているが将来に不安はないかどうか。 第二点、経常収支比率の問題である。 財政力指数が年々低下しているのに対し、経常収支比率は年々増加している。このままで推移するならば、将来経常収支比率が80%を超え90%に近くなり、財政運営が破綻することも予測されるが何らかの改善策はないのか。</p>
<p>2 上富良野小学校改築について (教育長)</p>	<p>当該小学校の改築にあたって、多数の町民が歓迎している事と存じます。 計画によれば、本年度実施設計、25年着工、26年完成の予定とあるが、本年度において約9,500万円の実施設計費などを計上している。 財源内訳として国が924万円、基金3,900万円、一般財源として4,718万円の予算である。今後、予定通り進んでいくのか、現時点での教育長の見解を伺いたい。</p>
<p>2 3番 村上 和子 1 町長の任期を目前にしてこの4年間の検証、行政を問う (町長)</p>	<p>4年間の行政執行を問う 予算の編成は町長の専管事項であり、議会は予算で示される行政の仕事を議決する機関である。この4年間、ほぼ一般会計60億円前後の予算が編成され、限られた財源ではあるが将来に向けての投資的予算も無く、将来のビジョンが見えにくく、予算査定も従前と同じ方法がとられ、何回か一般質問でも行政評価等を取り入れ、編成するとか新しい試みとして住民参加の予算をとということも申し上げたが、そのような手法も無く無難に終始したと考えるが、その点についてはいかがか。 政策の選択や優先順位は十分町民の声は反映されたかどうか。 医療・介護・子育て・福祉・商工・農業・産業振興・自衛隊現状維持対策等については、特に自衛隊現状維持対策については評価できるが、医療・介護・子育て・福祉・商工・農業については町の独自性が無く、特に、産業振興については既存企業存続に傾注し、町長としてのセールス活動やPR活</p>

	<p>動による雇用拡大や地域の活性化、定住策等は他町村と比べて見劣りを感じるが、町長としての見解は、役場庁舎内の組織を活用した職員・人事考課・能力の引き出しのリーダーシップについて</p> <p>(1) かねがね町長は庁内組織機構スタッフ制については色々を持論を持っていたが、組織機構が変わっていないということは、組織が定着しつつあるのか、また、職員が仕事のしやすい組織となっているのか。</p> <p>(2) 職員の提案案件も出やすい環境になっていないのではないか。</p> <p>(3) 地域にとけ込んで住民と共に汗を流し、苦勞をする地区担当職員の配置がされないのはどういう考えか。</p> <p>(4) 自治基本条例が制定され、行政・議会・住民の役割・まちづくりの要である職員の人事考課や、能力の引き出しに強いリーダーシップが求められているが、どうであったか。</p> <p>町長が描いたこの4年間は、町民の暮らしがよくなったと思うかどうか。農業者の足腰が強くなったと思うかどうか。町の活性化は図られたかどうか。</p>
<p>3 11番 今村 辰義</p> <p>1 今冬、節電を促進するため「家庭向け省エネ節電キャンペーン(仮称)」を実施して節電達成家庭に商品券等を</p> <p>(町長)</p>	<p>政府による2010年比7%以上の夏の節電要請を受けて、道・自治体・家庭などが、それぞれの立場で節電に務め、なんとか計画停電が発動されずにすみそうである。電気需要の過大や発電所の故障などの電力不足による計画外の停電についても現在のところ発生していない。道は、省エネ節電対策として、今夏初めて家庭向け省エネキャンペーンを実施し、7～9月の電気またはガスの使用量を前年同月より減らした家庭に抽選で道産米などを送っている。そしてこれの「冬番」を11月から始める予定である。</p> <p>また、日高管内浦河町は今夏の節電を促進するため、「2ヶ月分の消費電力を昨年同期より10%以上減らした町内世帯に2千円分の地域商品券を贈る「レッツ！うらかわ省エネ節電町民運動」を実施中である。</p> <p>暖房が欠かせず、照明の使用時間も延びる冬の節電は夏より困難であり、夏場以上の対策が求められる。停電になれば暖房設備が使えなくなるなど、「町民の命に関わりかねない」との見方もある。</p> <p>また、照明をこまめに消すなど、夏場の節電対策の大半は冬も効果がある。</p> <p>そこで、町も今冬の節電を促進するため、浦河町のように節電目標を達成した家庭に商品券を贈るなどの「家庭向け省エネ節電キャンペーン(仮称)」を行い、節電意欲向上の一助とすればよいと思うがいかがか。</p>
<p>2 融雪後における速やかなスノーポールや標識の曲がりの修復を</p> <p>(町長)</p>	<p>町道における「線道路」などの標識や、左右の道路わきに連なる赤白表示のスノーポールが、除雪などで押されて曲がったり、倒れたりする。これは一面やむを得ないのかなとも思う。大事なものはそれらを雪解け後速やかに修復することだと思う。観光の町としても、観光シーズン到来前にそれらを点</p>

	<p>検し、直すことが重要であると思う。そこを通る町民も町の景観のためにも早く直してほしいと願っている。</p> <p>しかし、残念ながら9月5日すなわち観光シーズンもピークを過ぎようとしている現在、曲がったままで放置してあるところが何カ所も存在する。そこで質問だが、この現状をどう思うか。</p> <p>町道の除雪は業者に委ねるようになったが、標識などの曲がりの有無の点検や修復はどこが担当しているのか。</p> <p>融雪後は、速やかにスノーポールや標識を修復すべきであると考えがいかがか。町長に伺う。</p>
<p>4 1番 佐川 典子</p> <p>1 雑草の中の町花ラベンダーについて (町長)</p>	<p>町民の誰もが知るラベンダー。見るだけでなく手に触れ、またかぐわしい香りのする可憐な花で癒しの効果もあり、町はラベンダー発祥の地としている。</p> <p>昭和56年10月1日、町花に制定されて早31年。日の出公園のラベンダーは当時見事な紫の絨毯を成し、国道237号線からも紫の日の出山がはっきりと気高く見えたものだった。十勝岳の秀峰のふもとにラベンダーあり。これは強いインパクトであった。現在の日の出山や、約7kmにわたり植栽された“ラベンダーロード”は年々草だらけで歯抜け状態。多くの町民や観光客が残念に思っている所である。このラベンダー植栽について町としての保守精神と、町民の意識の醸成について町長の所見を伺いたい。</p> <p>また「町民ボランティアの日」を町が制定し、その日は“様々な人が町のためにラベンダーのボランティア作業に参加する日”を設ける事についても合わせて伺いたい。</p>
<p>2 美瑛町から深山峠近くまで来ている送電線支持物建替工事について (町長)</p>	<p>先日、深山峠近くで電力会社の送電線を支えている鉄塔を見て来た。大きな鉄骨の柱が連なり、気付かない間に建てられていた感がある。かなりの威圧感を覚えた。</p> <p>本町の「かみふらの景観づくり条例」が22年9月16日に制定されたが、4ヶ所の指定検討案の中に深山峠が第1に上げられ、景観資源の優位性、観光戦略の重要性、保全・改善の緊急性、地域住民の理解と協力など、4つの視点で深山峠が上富良野町の代表的観光地区であるとされた。</p> <p>国道237号に位置し、花人街道の名のもと、旭川-富良野間の交通量の多い地区であり、上富良野への道の玄関口である。また上富良野八景の1つでもある。美瑛町と同じ様な送電線支持塔を建てるのであれば、深山峠の丘が織り成す十勝岳連峰への絶景の流れに対する異物となり、負の財産を背負う事になってしまう。建ってからでは遅い。電力会社に対し、この地区に建てる計画があるのかも含め、詳細を聞くべきだと思うが町長の所見を伺いたい。</p>

	<p>また、上富良野町の深山峠の景色を愛し、この地区に移住している方々の思いを受け止める必要があると思うが、それについても伺いたい。</p>
<p>3 わかりやすい標示について (町長)</p>	<p>高齢化に伴い、目がかすみ、説明文章などが読みにくくなったという人が増えて来ている。インターネットを開いても読みにくい人の為に、他の自治体ではワンクリックで字を拡大できるように行っている。また音声でのガイダンスや色弱の方への配慮やふりがななど、本町もわかりやすい表示のあり方を考えるべきではないのか伺いたい。</p> <p>観光客にとって駅は町の窓口でもある。十勝岳線バス乗り場とバス停留所の看板標示の位置が違う。また、外国人観光客に対し、特に英語はもちろん、中国語や韓国語など再度見直しし、標示のあり方を考え、来町された方に不快な思いをさせない事が重要だと思うが、この事について伺いたい。また、町中の案内看板標示を、できるだけ人の目線の高さや見やすい高さに統一できないか伺いたい。</p>
<p>5 4番 米沢 義英 1 産業振興について (町長)</p>	<p>活気のある街づくりのためには、商工業の担い手の育成は欠かせないと思うが、次の項目について答弁を求める。</p> <p>町の若い世代の人、他市町村から転入してきて起業を志す人の支援強化が必要だと思うが、将来独立して店舗の開設を目指す人を支援するためにも、空き店舗などを活用して経営体験をしてもらう場所の確保や、独立後の経営支援策などの具体化を図ることが必要と思うが。</p>
<p>2 障がい者福祉行政について (町長)</p>	<p>障がい者の日常生活を支えるふれあいサロン事業は現在、富良野の福祉施設に委託しているが、町内の福祉施設でも事業の実施が可能であれば、見直しが必要では。</p>
<p>3 子育て支援について (町長)</p>	<p>管内でも子育てを支援する取り組みとして、子どもの医療費無料化を中学校まで拡充する自治体が広がってきているが、今後の対応は。</p>
<p>4 町道の使用について (町長)</p>	<p>自衛隊が公道を武装して行軍しているが、町に公道使用の届出などがあるのか、今後町は、軍事訓練は演習場内で実施するよう求めるべきでは。</p>
<p>5 行政評価について (町長)</p>	<p>町長に就任して4年が経過しようとしているが、自らの評価と、町長選出馬について伺いたい。</p> <p>4年間を見ると、町長が目指す町づくりの意志が伝わらず活気のある街づくりには成功していない。また、町民の求めている思いからかけ離れていると考えるが、自らの行政評価を具体的に、2選目を目指すのであれば、どのような町づくりを目指すのか具体的に。</p>
<p>6 教育行政について (教育長)</p>	<p>義務教育は本来、教育に関わる費用は無償が原則になっているが、教材の一部などが保護者負担になっているので軽減を図るべきでは。</p>

<p>6 10番 一色 美秀</p> <p>1 東中中学校閉校後の利用について</p> <p>(町 長)</p>	<p>1年半後に東中中学校の閉校を控えて、その後の利用策を今から検討しなければならない。</p> <p>その一案として、小規模多機能型居宅介護施設と認知症対応型高齢者共同生活介護のグループホームを併用した施設として利用する。</p> <p>事業の実施主体は町で行い、利用者・家族と支援員を調整するコーディネーター役を町社会福祉協議会に事業の一部委託を行い、訪問活動は研修を受講した町民ボランティア（有償）が担う。</p> <p>町と社協と地域住民が一体となって取り組むことが最善の方策と思うがどうか。</p>
<p>2 職員を中央省庁に派遣する仕組みについて</p> <p>(町 長)</p>	<p>まちづくりは人づくりが重要と考えるが、そこで、国土交通省・厚生労働省・文部科学省等へ職員を一定期間派遣し、中央からの最新情報をいち早く入手し、様々な施策に有効利用する。ハード面での基盤整備と併せて「人」づくりによるソフト面での基盤整備が重要と思う。</p> <p>その仕組みづくりを検討する考えがあるか伺いたい。</p>